

入間市公共施設マネジメント事業計画（原案）市民説明会の概要（2月5日(火) 東藤沢公民館）

市民説明会を開催しましたので、次の通り報告いたします。

1. 開催日時・会場

〈藤沢地区〉

日 時 平成31年2月5日（火） 午後7時00分から午後8時40分

場 所 東藤沢公民館 1階 大会議室

2. 内容

①開会あいさつ（田中市長）

②公共施設マネジメント事業計画（原案）についての説明（公共施設マネジメント推進課）

③質疑応答

④閉会

3. 参加者数

参加者 36名

※ 質疑応答の概要は別紙のとおりです

「公共施設マネジメント事業計画（原案）」市民説明会 質疑応答一覧

No.	発言要旨	応答
1	・ 公共施設マネジメントの取組みに理念や目標はあるのか。 ・ 公共施設マネジメント推進課には都市計画の専門家はいるのか。あるいは、そういった専門家に指導を受けたのか。 ・ 小中学生にアンケートを取ってきたそうだが、その結果があれば教えてほしい。	(公マネ課) 今回の「公共施設マネジメント事業計画」は、具体的な整備の方向性をまとめた計画であるが、その前提として平成 27 年に公共施設全体の方向性を示した「公共施設等総合管理計画」を策定した。その中で、「市民にとって真に必要な施設サービスを持続的に提供していくための全体適正化」という基本理念を掲げた。今後の人口問題、財政状況、求められるサービスを踏まえ、それに見合ったものとするのが基本的な理念である。公共施設マネジメントは市を挙げて取り組んでいる。 (公マネ課) 都市計画については、市の都市計画のマスタープランや総合計画などとの整合を図っている。公共施設の再整備や再配置については、全体の都市計画の中での関連性を考慮していく。課内に専門の職員はいないが、庁内の関連部署とともに取り組んでいる。 (公マネ課) 小学 6 年生と中学 3 年生を対象に、市役所と市民会館・中央公民館の整備について基本的なことを聞いた。まず市役所について、耐震化が必要ということを理解してもらったうえで、「安全性を確保するために建替えた方がよい」と答えたのは、小学生が 36%。逆に「あまりお金をかけずに今の建物を改修して使い続けた方がよい」というのが 40%。中学生については建替えが 44%。一方、改修が 33%であった。市民会館・中央公民館についても同様に聞き、小学生は建替えが 35%、改修が 40%。中学生は建替えが 44%、改修が 33%であった。
2	・ 藤沢東小学校を建替える時は、藤沢東小学校の児童は藤沢南小学校に移るのか。また藤沢中学校の時はどうなるのか。	(公マネ課) 藤沢東小学校については建替えの際には藤沢南小学校に一時移る。中学校については、藤沢中学校の場合は、現在の校舎に居ながら敷地内で新校舎を建てるのが可能だろうと想定している。また、上藤沢中学校は移転して藤沢南小学校の跡地に建てることを想定している。

	・東藤沢公民館辺りの子どもは藤沢東小学校に通っている。この辺りの子どもが藤沢南小学校まで通うのは遠い。全国的に学校の統廃合は行われていると思う。安全の確保や通学方法に関して、現在の見解があれば教えてほしい。	(学校教育課) 子ども達の安全が一番大事である。小学校の場合は、自転車通学というわけにはいかないと思う。他の地区でも意見が出ており、距離によってはスクールバスによる通学も検討の中に入れている。
3	・保育所のことについて伺いたい。統合されると子どもを通わせている保護者はどう思うか心配である。保育所を大事にするということは、人口が増えるということにも繋がる。小さな子どものいる親は、保育所が充実している所に住みたいと思う。	(公マ課) 藤沢地区については、保育所の利用者が多く、施設も比較的新しい。今の計画では、二つの施設とも改修し使い続けることを考えている。将来的には地域の中で一つにすることを考えているが、利用状況も見ながら進めていく。市全体で見た時、他の地区では保育所の統合も考えている。特に宮寺・二本木地区、金子地区、豊岡地区には複数の施設があるが、施設は古い。送迎の状況も見ながら場所は検討していく。保育所は地域の魅力ともなる施設である。統合により距離が遠くなる方もいると思うが、その分現在できていない保育サービスを行ったり、設備を更新したりする部分に投資をしていきたい。
4	・厳しい財政状況、人口減少、施設の老朽化と難しい時代に直面している。市の歳入を増やす取組みはないのか。例えば、ふるさと納税など資金を集める方法を考えていれば教えてほしい。	(政策推進室) 公共施設マネジメントの取組みと併せて、行政改革に取り組んでいる。歳入の確保策としては、税の収納率の向上や償却資産の課税強化、企業誘致の促進、有料広告の充実などを行っている。また公民館等においては、使用料をいただいている。
5	・市役所整備計画について教えてほしい。公共施設マネジメントの取組みの前提として、新たなハコモノは造らないということを謳っていたはずである。一方で市役所の耐震化の問題もある。先日、新聞報道にもあったが、市役所についてはいつ頃設計し、着工するのか。 ・概算の事業費が出ているが、市民会館などと複合化したらもっと高くなるのではないか。	(公マ課) 方針については、新たなサービス需要が発生した際、それに対応するための施設を造るのではなく、今ある施設を活用したり、既存の施設を建替える時にその機能を入れたりすることで対応するという意味である。サービスを継続して提供していくための施設の老朽化が進んだ時には建替えが必要になる。そこはご理解いただきたい。市役所整備の工程については、計画を今年度中に策定し、設計は1年後から開始する。大きな施設であるため、設計には3年程度かかると想定している。その後、工事に入っていく。工事は5年程度かかると想定し、全体では8年程度かかると見込んでいるが、設計によって若干の前後はすると思う。 (公マ課) 市民会館・中央公民館については、当初は市役所との複合化を検討していたが、現在の案は別々に整備していく

	・お願いになるが、今、市役所のそれぞれの窓口は離れている。総合窓口を設けてもらいたい。バリアフリーの整備も効率的に行うことが出来ると思う。	ものである。市民会館・中央公民館は耐震改修という案であるが、実際に現在見込んでいる事業費でそれができるかは詳細に調査していく。市役所の A・B 棟は耐震性能が不足しており、それに代わる新棟は 5 階建を想定している。現在より面積は減らしていく。 (政策推進室) バリアフリーや総合窓口については、市民の声を聞いてしっかりと検討していきたい。
6	・他の地区は反対の声が多い。以前、住民投票の実施について質問したところ、実施しない意向という回答しか得られなかった。住民投票を行わない理由を教えてください。	(市長) 住民投票も選挙も民主主義である。私も議員も市民の方から選ばれている。市民の意見を十二分に反映し、高所大所からの判断は必要である。かつて圏央道の建設の際、インターチェンジ付近の住民は皆反対だった。私もその時反対した。地元としては、車が流入して渋滞になる懸念があった。しかし、入間市全体で見れば、インターチェンジができることで発展していくという面もある。住民投票は、個人の利害が優先される面もある。今回の説明会で各地区を回っていると、計画の趣旨は賛成だが、自分の地区の学校や公民館は無くさないでほしいという声を聞く。最終的には、私も議員もしっかり市民の声を聞き、高所大所から判断し議論していく。私や議員は政治生命を懸け、将来のために議論していく。それでも住民投票を行う必要があれば、それは考えなければならない。住民投票も二元代表制も民主主義であるが、まずは私と議員とでしっかりと議論していく。現時点では、住民投票は実施しない考えであることはご理解いただきたい。